

教室日記<こころの天気図>発行・音田輝元



第3回・法円坂子ども教室

フェスティバルは大成功！

会場には、子ども達の笑顔が一杯でした。

皆さん！ありがとうございました。

子どもの参加200名・保護者参観約100名・スタッフ90名

■たのしさいっぱい！<法円坂子ども教室フェスティバル>

第3回、「法円坂子ども教室・フェスティバル」も無事に終わることができました。会場には、子ども達の笑顔が一杯。また、保護者の皆さんにも多数参観していただき、とても充実したイベントとして大成功しました。

<S.A・子ども教室研究科>の皆さん！連日の準備等…お疲れ様でした！こんなたのしいイベントになったのも、皆さんのご活躍があったからです。本当にありがとうございました。

★液体窒素の実験は、したことがないからとても楽しかったし、いろいろな実験もできてよかった。実験の中で一番楽しかったのは、風船をちぢめる実験です。なぜなら、ちぢんだのに、なんかいももどるから楽しかったです。（M・T君）

★ゴムボールを液体窒素につけて落としたら、われたのがすごくビックリした。風船がしぼんだのもすごいなあと思いました。自由研究に使いたいです。（K・Tさん）



●今回私の担当は、<イオンと食べもの>の実験。もう何度もこの実験はしていますが、今回もとても新鮮でした。また授業運営法について<新しい発見>があり、次回にはその課題にチャレンジしようと思いました。「子ども達のヤッターの歓声！」は何度聞いても気分が良いものです！「子ども達は22名+参観保護者が10名」で人数的

にもとてもやりやすい授業でした。

特に、たのしかったのは、一人の科学好きの小学生の登場でした。「これには、原子の中の電子の数の違いによって、原子がイオン状態になっているので・・・」と専門用語も使いながら何度も発言してくれていました。嬉しいのは、専門的な知識を堂々と披露しながら、「何度か予想が外れたこと」です。この小学生にとっては、「きっとたのしい夏休みの思い出の一つ」になったことでしょう。

「どうしてそんなに専門的なことを知っているの？塾に行って勉強したの？」と聞いてみると、「図書館で本を借りて読んでいます！たのしいから」と。これは凄い・・・。

実はこの5年生、南大江小学校のN教師とくもしも原子が見えたならを勉強したそうです。それから原子や電子のことがとても好きになったというわけです。

(フェスティバルを参観していた、南大江小学校のN先生のお話)

■午後イベント・・・<もの作り>も大賑わい、大成功でした！



★会場には子ども達の笑顔がいっぱい！

★<もの作り>担当もたのしい！

★技や知恵を身につけながら、ものづくりのおもしろさを味わおう。自分で作ったものはきっと、世界でひとつだけの宝物になる！（平林浩・東京科学の出前教師）